

ProMED-mail 情報 2021年 7月版

ProMED-mail <https://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介し、FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <https://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
30日	E型肝炎 スーダン	東スーダンのゲダレフ州とカッサラ州の難民キャンプで感染者が広がっており、エチオピアからの難民数百人が感染し、地元地域にリスクをもたらしている。あわせて約4万人が暮らす両キャンプでは、大雨で破壊された影響もありトイレが不足している。
28日	アナプラズマ症 米国	ペンシルベニア州バトラー郡の地元の医師は、マダニによって引き起こされるアナプラズマ症の患者数が増えていると警告している。同地域での診断件数は2019年に0件だったが、2020年に7件、2021年にすでに18件発生している。
26日	狂犬病 米国	ノースカロライナ州メクレンバーグ郡で、今年6例目の狂犬病の陽性動物（キツネ）が確認された。警察の発表によると、ヒト1人と犬2匹が暴露したことを受けて、公共機関が住民に警告したと発表した。
24日	ノロウイルス 英国	イングランド公衆衛生局によると、ノロウイルスの患者数が通常の夏季平均値の3倍に達している。政府は、今後数ヶ月の間に通常とは異なるあるいは季節外れの増加がみられると警告している。アウトブレイクは、主に教育現場、特に保育園や児童養護施設で発生している。
22日	鳥インフルエンザ (H5N8疑い) インド	全インド医科学研究所は、鳥インフルエンザの治療を受けていた11歳の男児が死亡したと報告した。今年初めに全国的な鳥インフルエンザの発生が報告されており、ハリヤナ州ではH5N8亜型が検出された。
20日	Bウイルス病 中国	中国疾病予防管理センターは、中国で初めてBウイルスのヒトでの感染例を報告した。北京の研究機関に勤務する男性の獣医師で、3月に死んだサル2匹を解剖し、その1ヶ月後に発熱、吐気、嘔吐を発症した。4月に血液と唾液サンプルから同病原体が確認され、5月に死亡した。
16日	鳥インフルエンザ (H5N6) 中国	2014年以降、H5N6のヒトへの感染は散発的に報告されている。2020年末に報告された4例に続いて、今年に入ってから4例が報告されており、この数ヶ月で8件の症例が報告されている。
12日	梅毒 アイルランド	健康保護監視センターによると、6月に早期梅毒（1期及び2期）の全国的なアウトブレイクが宣言され、調査が行われている。同センターは、COVID-19の影響で診断されていない梅毒感染者が大量に存在する可能性があるとして述べている。
10日	レジオネラ症 米国	ミネソタ州保健局によると、同州内のホテルに滞在しプール及び温水エリアを利用した関連のない2グループで、実験室確定例が確認された。
8日	A型肝炎 米国	ノースカロライナ州でのアウトブレイクは2018年以降、855件の症例が発生。今回のアウトブレイクでは多くの症例でヒトからヒトへの感染がみられる。特にリスクの高いと思われる人々（薬物使用者、ホームレス、男性と性交渉を持つ男性）を対象とした予防接種戦略が重要である。
5日	ダニ媒介性脳炎 (TBE) スウェーデン	公衆衛生局によると、2020年には6月末までに31件の症例が報告されていたが、今年はずすでに62件が報告されている。倍増した要因について、天候の影響とCOVID-19パンデミックによるTBEワクチン接種率の低下を専門家らは示している。
4日	内蔵型リーシュマニア症 ケニア	保健省によると、2018年の907件から2019年の1,463件へと増加した後、2020年には1,200件へと減少したが、今年の報告数は着実に増加しており、専門家らは懸念を示している。